

2010年度事業報告概要

【事業報告】

〈I. 教育〉

1. 歯学部

(1) 教育・カリキュラム

- ① 新たな教育システムの検討、構築
 - a. ウィークリーテストを引き続き実施し検証、検討、改善を行った。
 - b. レポートの添削等の個別指導を導入した。
 - c. 進級試験、卒業試験のあり方を再度検証し、厳格に進級判定を行った。第4学年は共用試験を用いて進級判定を行った。
- ② 授業時間外の学習支援
個別に学生に対応する“イブニング・サポート”を実施した。
- ③ カリキュラムの改善
- ④ 教員組織および事務体制の再構築のため、更なる効率化、合理化を検討した。

(2) 学生生活

- ① 学内奨学金制度による経済的な支援を実施した。
 - ② 三者面談を実施した。
 - ③ 学生の健康、精神面における対応として、保健室、学生相談室を設置して学生のサポートを行った。
 - ④ 学生寮（Campus Inn）の入居学生を対象に学生管理・指導説明会を開催して、入居学生の生活指導・支援を行った。
- (3) 国家試験の合格率向上のための教育指導として、チューター制による少人数教育を実施した。また、模擬試験等を有効活用し、合格率の向上を目指した。
- (4) 2011年度入学者選抜試験を実施した。

2. 大学院歯学独立研究科・総合歯科医学研究所

(1) 教育事業

- ① 大学院教育の実質化の推進
論文作成に関する講義や統計学など4科目を導入、今後の研究の進捗や学位論文作成等への対策を講じた。また、社会人学生への対応として、授業（導入科目）をDVDに収録し、授業に出席できない学生に配付したほか、メール等による個別指導を実施した。
- ② 大学院セミナー等を開催した。
- ③ 研究発表会の開催
- ④ 大学院特別講演を行った。
ハーバード大学ハワードヒューズ医学研究所 René Maehr 特別研究員による、演題「幹細胞を用いたI型糖尿病治療への取り組み」。
- ⑤ 研究経過報告書
研究の進捗状況を把握し、研究活動をサポートした。
- ⑥ 学位授与

(2) 2011年度入学者選抜試験を実施した。

(3) 研究

- ① 国内および海外共同研究を行った。
- ② 科学研究費補助金の採択について
2010年度に交付された科学研究費補助金は60件。民間からの受託研究は2件、奨学寄附金は9件であった。

(4) 臨床

樹状細胞ワクチン療法室の一員として、本学病院にて行っているがん治療におけるワクチン作製及びワクチン解凍業務を担当した。

3. 松本歯科大学衛生学院

- (1) 教育事業
- (2) 学生募集事業
県内高等学校でのガイダンスおよび県内、近県会場でのガイダンスに参加した。
- (3) 2011年度入学者選抜試験の実施した。
3年制移行に伴う学則変更により、2011年度から入学定員を1学年38人とした。
- (4) 歯科衛生士学科3年制課程への移行に伴う新規講座の申請
3年制の新教育課程において、訪問介護員（ホームヘルパー）2級、メディカルクラークの資格取得に係る講座を開講するため、長野県及び各団体に申請し、認可された。

〈Ⅱ. 病院・診療〉

1. 病院

- (1) 樹状細胞ワクチンによるがん治療
2010年4月、樹状細胞ワクチン療法室を設置して、免疫療法によるがん治療を展開した。
- (2) 健診・健康づくりセンター
2010年4月から健診・健康づくりセンターとして事業を開始した。

2. 診療

患者数と診療報酬額
病院全体の患者数は、前年比9.8%増、および診療実績では前年比27.3%増となり、前年度を上回る結果となった。

〈Ⅲ. 管理・運営〉

1. 施設・設備の整備

- (1) 学生及び病院患者へのサービス向上
 - ① 健康増進キャンパス整備の一環として、朝食での利用促進を目指し学生に対するワンコイン（1日3食500円）での食事提供を実施、また、ヘルシーメニューの提供を行った。
 - ② 地域社会への貢献および患者へのサービス向上を目指したシャトルバス運行事業については、利用者増加へ向けた運行体制の検討と見直しを行った。
- (2) IT関連では、成績管理、学生募集関係、IDカードによる食堂利用のためのシステム整備を検討実施した。

2. 管理経費の削減

歯学部学生総数に見合う学校運営体制に整備し、継続的な安定運営を目指し、財政基盤を強固にするための施策の展開を基本方針とし、2011年度に向けた業務委託契約の見直しや光熱水費の削減、人員体制の見直し等、経常的な経費削減に取り組んだ。光熱水費は、原油換算削減割合で前年度比6%以上の削減となり、大きな成果を挙げることができた。

3. 組織・人事

- (1) 業務の効率化を検討し、人員体制の見直しを行った。(2) 教育、事務組織の効率化のため適宜人事異動を行った。
- (2) 歯科大学に勤務する職員としての自覚を促すため、定期健康診断時に口腔内検診を実施するとともに、40歳以上の職員には歯周病検診を実施した。

4. 広報・学生募集

高校等における出張講義は高校3校から依頼があり実施し、好評であった。また、将来の受験生に結びつく高校生受入事業も行い、長野県飯田風越高校第1学年116人が学内見学や模擬講義を受講した。